



よみもの

すてつぷら

ヒマワリは たいようへ 花^{はな}を おけるのですか。

夏^{なつ}に 大き^{おお}な きいろい 花^{はな}を さかせる
ヒマワリは、せ^にたけが 二、三^{さん}メートルに
も なり、夏^{なつ}の おわりに たくさんの
たねを つけます。

ヒマワリは もともと きたアメリカに
あ^{はな}った 花^{はな}で、むかし 日本^{にっぽん}に 入^{はい}って
きた ころは、たいようの うごきに あわ
せて 花^{はな}が うごく^とかんがえられており、
そのため「ヒマワリ」という なまえが
つきました。

しかし、じっさいは、花^{はな}は ほとんど
うごきません。つぼみの あいだは、たい
ようの ほうを むいて、日^ひの 出^での ころ
は ひがし、ひるは みなみ、ゆうがたは
にしを むくと、いう うごきを します
が、花^{はな}が さきはじめると、つぼみは よこ
を むいて ほとんど うごかなく なり
ます。

